令和七年度採用
山梨県公立学校教員選考検査

中学校（国語）

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注　意

一　この問題は**三問六ページ**で、時間は**六十分**です。

二　解答用紙は、**別紙**で配布します。**「始め」**の合図で始めてください。

三　**解答**は、それぞれの問題の指示に従って**解答用紙**に記入してください。

四　**「やめ」**の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。

五　**解答用紙を持ち出してはいけません。**

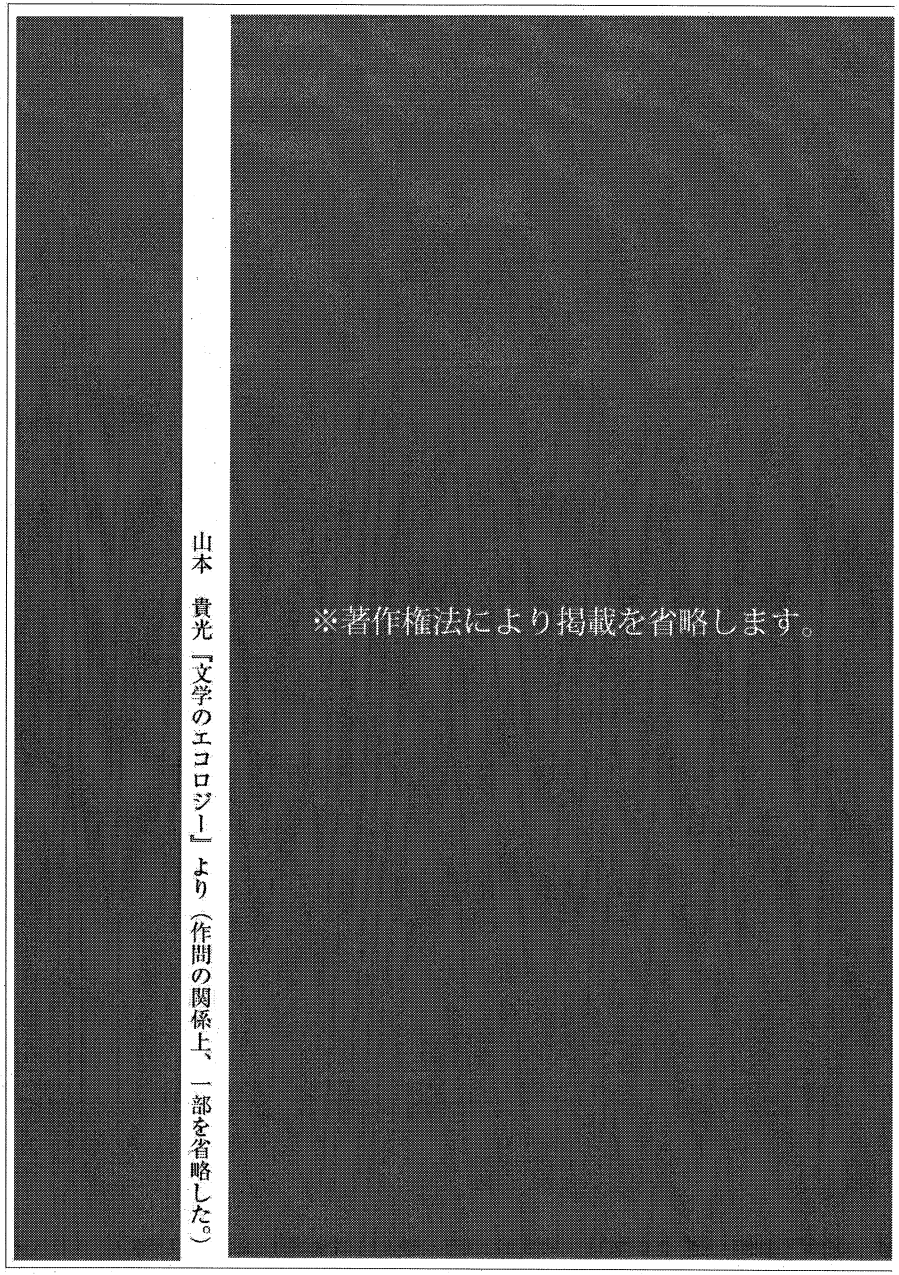
令和七年度採用　山梨県公立学校教員選考検査

中学校国語

一

次の文章を読んで、一～六の問いに答えよ。（＊は注を表す。）

※著作権法により掲載を省略します。



山本　貴光『文学のエコロジー』より（作問の関係上、一部を省略した。）

一　「a 措く」、「d 多寡」の読み方をひらがなで記せ。

二　「b トラえよう」、「c ケンビキョウ」を漢字に直して記せ。（楷書で正確に書くこと）

三　「①文芸作品にはなにが書かれているのだろうか。」の一文を文節に区切ったものとして、最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で記せ。なお、「／」は文節の区切りを示している。

ア、文芸作品には／なにが／書かれている／のだろうか。

イ、文芸作品には／なにが／書かれて／いるのだろうか。

ウ、文芸作品には／なにが／書かれて／いる／のだろうか。

エ、文芸作品には／なにが／書かれて／いるの／だろうか。

四　「②一線を画す見方」とあるが、筆者は、漱石の文学の見方はどのような点で一線を画すと述べているか、「文学の見方」、「文学の定義」という言葉を使って五十字以上五十五字以内で記せ。

五　文中の（　A　）、（　B　）、（　C　）には、次のア、イのどちらの言葉があてはまるか、それぞれ一つ選び、記号で記せ。

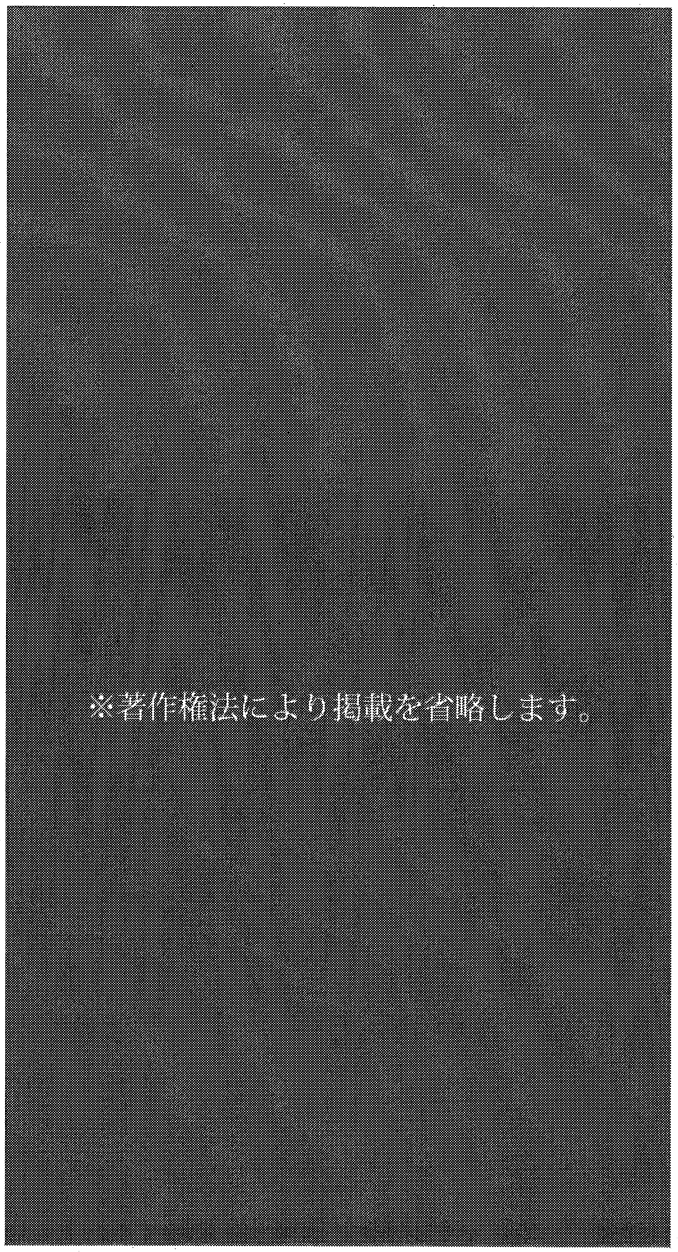
ア、F（認識）　イ、f（情緒）

六　「③文芸作品は、文字で書かれたものであると同時に、書かれずにおかれた省略によって成り立っている」とあるが、どのようなことか。「世界」という言葉を使って五十五字以上六十字以内で説明せよ。

二

次の文章を読んで、一～六の問いに答えよ。

※著作権法により掲載を省略します。



山崎　正和「ビブリオバトル」（『哲学漫想』所収）より（作問の関係上、一部を省略した。）

一　「①要領」の意味を記せ。

二　「②そういう本能はなぜ人間に備わっていたのだろうか」とあるが、筆者はその理由をどのように考えているか、六十五字以上七十字以内で記せ。

三　文中の（　A　）にあてはまる言葉として、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で記せ。

ア、明け方　　イ、朝方　　ウ、日中　　エ、夕方

四　「③創造とは語り継ぎの一種だともいえるはずである」とあるが、その理由を六十字以上六十五字以内で説明せよ。

五　「④個人を殻に閉じ込めて共同体を破壊することにつながる」とあるが、このことを説明した文として、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で記せ。

ア、個人が自身の検索した情報を頼りに知識を得ることで、他者から意外な知識を得ることができず、他者の必要性を感じることができないということ。

イ、人間は知りたいと考えたことを知ることで賢くなるため、他者からの情報を自分が知りたいという欲求が生まれ、共同体の必要性を感じるということ。

ウ、他者からの意外な情報からではなく、個人の興味に基づいて検索した情報からのみ知識を得ることでは、自分の殻を破ることができないということ。

エ、現代は共同体の時代であって、既存の共同体を破壊することで、個人の殻を破ることができ、個人の関心を多様化させることができるということ。

六　あなたが、二学年の国語（話すこと・聞くこと）の授業で、「ビブリオバトル」を言語活動に設定して、次の学習指導要領の【指導事項（A　話すこと・聞くこと　二学年）】のイを「思考力、判断力、表現力等」の目標にして指導する場合、ＩＣＴ機器をどのように活用するか、その理由とともに説明せよ。

【指導事項（A　話すこと・聞くこと　二学年）】

A　話すこと・聞くこと

（1）話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。

イ　自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。

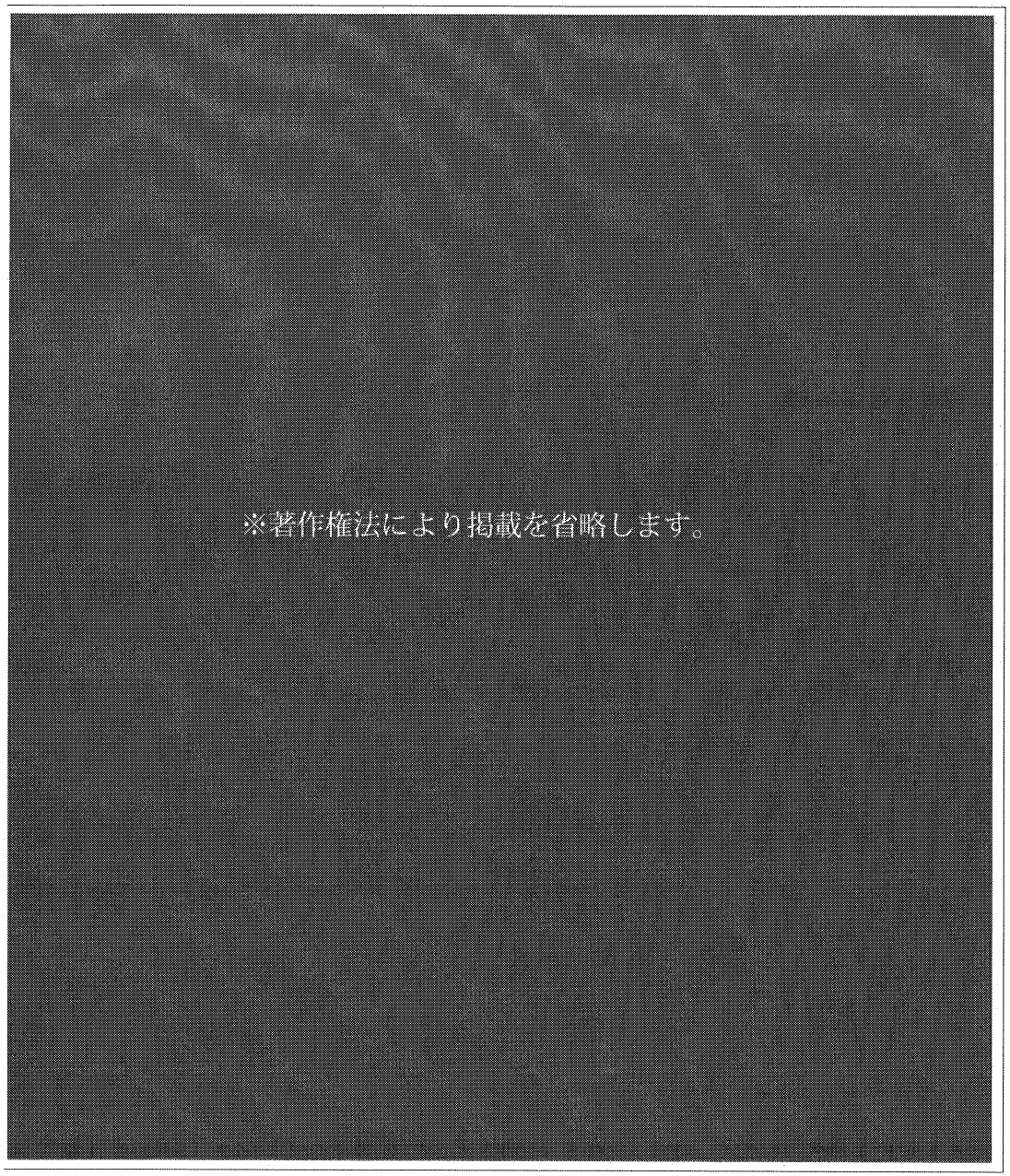
ウ　資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。

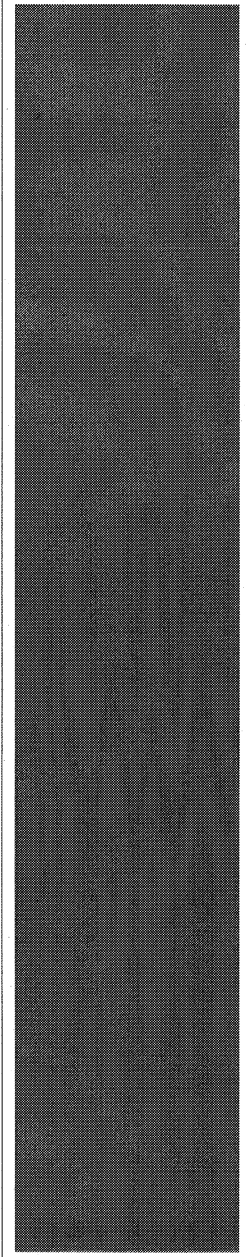
エ　論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

オ　互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。

三

次は、『源氏物語』の「幻」の一節である。この文章を読んで、一～六の問いに答えよ。（＊は注を表す。）





一　「a やうやう」、「b 結ひあはせて」を音読する場合、その読み方をすべてひらがなで答えよ。

二　「A べかり」の品詞・活用形を記せ。

三　「ア おぼし続けて」「イ 御覧じつけて」「ウ おし遣り給ひて」「エ え引き広げねど」の中から主語が異なるものを一つ選び、記号を記せ。

四　「①御本意（ほい）とげ給ふべきけしき」とあるが、このように察したのは、誰の、どのような様子からか、説明せよ。

五　「②破らせ給ふ」とあるが、その理由を三十五字以上四十字以内で記せ。

六　「③死出（しで）の山越えにし人を慕ふとて跡を見つつもなほ惑ふかな」を現代語訳せよ。

令和七年度採用　山梨県公立学校教員選考検査

中学校国語　解答例

一

一　a　おく　　d　たか
二　b　捉えよう　　c　顕微鏡
三　イ
四　漱石は、個人の興味関心による文学の見方ではなく、時代や場所や言語に共通する普遍的な文学の定義を目指した点。
五　A　ア　　B　イ　　C　イ
六　文芸作品は、言葉によってなにかしらの世界が示されているが、その世界についてなにもかもが書かれているわけではないこと。

二

一　生物が共同体の中に生きる存在であり、人間は言葉によって情報や感想を語るとともに、物語を語り継ぐことによって共同体を一つにまとめてきたから。
二　エ
三　人間は先人の書いた本を読み、そこで学んだ言葉によって知性と感性を磨き、そのうえで自由に思ったり考えたりすることができるから。
四　ア
五　発表のリハーサルを行う際に、ICT機器を活用して、個別に自分のリハーサルの様子を録画し、取り上げた事例など、話の構成を観点として振り返り、個別最適な学びを実現する。生徒が自分の発表を聞き手の立場で捉え、話の全体を意識しながら、論理の展開を工夫するなど話の構成を検討することができると考える。

三

一　a　ようよう　　b　ゆいあわせて
二　（品詞）助動詞　（活用形）連用形
三　エ
四　源氏の、仕える人々の身分に応じて、形見の品をお与えになっている様子。
五　出家すれば、手紙を見なくなってしまうので、残しても無駄なことだと思ったから。
六　死出の山を超えて行ったあの人（紫の上）を慕う思いから、その筆の跡を目にしながらも（悲しみは紛れず）、まだ途方にくれていることよ。

配点

㈠ 一・二・三・・各3点　3×5＝15点
四・六・・・・・各6点　6×2＝12点
五・・・・・・各4点　4×3＝12点

㈡ 一・三・・・・各3点　3×2＝ 6点
二・四・五・・各4点　4×3＝12点
六・・・・・・・ 8点　8×1＝ 8点

㈢ 一・二・三・・各4点　4×5＝20点
四・五・六・・各5点　5×3＝15点

合計　100点